



HELLO, NEW CITY.

新しいまちの暮らし

スーパースマートシティうつのみや始動



宇都宮市役所におけるスマートワークの推進について

令和4年7月25日

## 宇都宮市役所で「スマートワーク」加速化！ 本庁舎5階のオフィスの一部をリニューアルします！

「スマートワーク」の実現に向けた取組として、先行的に政策審議室と人口対策・移住定住推進室が新たなオフィスで執務を開始します。

新たな執務環境を整備し、生産性と業務効率のさらなる向上を目指す、働き方改革の一環として、スマートワークを推進し、市民サービスの向上に取り組んでまいります。

### 1 「スマートワーク」を目指した新オフィスの概要・・・別紙

スマートワークとは、「ICT等を広く活用し、生産性の向上や業務の効率化、場所や時間に縛られない柔軟でスマートな働き方」を目指すものです。

#### <新オフィスの導入機能>

広さが従来比6倍！

#### ○ 交流と共創を生み出す多様で豊富な打合せスペース

職員が、「いつでも」・「すぐに」、人数や目的に合わせた打合わせが行えるよう、レスペーパー化により生み出された空間を活用し、大型モニター等を備えた複数の打合せスペースを確保

フレキシブルな  
座席配置が可能！

#### ○ 業務に合わせた働き方を可能にするユニバーサルレイアウト

業務に合わせて臨機応変な座席変更を可能にするため、デスクと椅子の規格を統一する「ユニバーサルレイアウト」を導入。併せて、庁内LANの無線化、PC端末の小型化を実施

働くスペースを  
柔軟に選択！

#### ○ 多様な働き方をサポートする集中作業用やWeb会議のワークブース

「集中して仕事がしたい」、「外部と気軽に打ち合わせがしたい」など、職員がその時の状況に応じて最適な働く場所を選ぶことができる、防音・遮蔽機能のあるワークブースを導入

裏面あり



HELLO, NEW CITY.

新しいまちの暮らし

スーパースマートシティうつのみや始動



## 2 スマートワークにより期待される効果

### (1) 交流と共創の促進（創造的企画立案による生産性の向上）

豊富な打合せスペースを設けるとともに、柔軟な座席変更を可能にすることで、交流と共創が活性化。良好な人間関係の形成を通じて仕事に「やりがい」や「柔軟な発想」が生まれ、新たな価値と創造的企画立案により生産性が向上

※ 既往調査では、職場での「やりがいが高いほど生産性が向上」と明らかになっている。

Before	After
固定座席	ユニバーサルレイアウト
会話は身近な同僚中心	打合せスペースで交流拡大
全ての執務は自席で	ワークブースで集中も可

### (2) さまざまなICT等を活用した業務効率の向上

大型モニター、無線LAN、モバイル型パソコン、豊富な打合せスペース等を活用した協議により、「ノンコア業務（資料の印刷製本・会議室確保等）時間の削減」や「資料修正の即時反映・確認」、「印刷コストの削減」に加え、今まで以上に「コア業務（企画立案等）に注力」することができる。

- ・ ノンコア業務の削減：約2,400時間/年の削減
- ・ レスペーパー化の強化：約21万枚/年の印刷用紙削減

3年で市役所本庁舎  
(60m)と同じ高さに！

Before	After
会議室の確保・調整	豊富な打合せスペース利用
資料の印刷・配付	大型モニターに資料投映
資料の事後修正	即時に資料修正・確認
文書を紙で保管	パソコン（データ）で資料閲覧

## 3 今後の予定

- 令和4年 8月 1日～ 新オフィスの導入
- 10月以降～ 庁内各会議室等への大型モニター導入
- 令和5年 2月以降～ モバイル型パソコンの導入
- 全庁的な無線LAN化
- 令和5年 4月以降～ 検証結果を踏まえた全庁的な取組の展開

### (参考) その他の働き方改革の取組

これまで働き方改革の一環として、以下の取組を実施してきた。

- ・ スイッチオフ day の徹底
- ・ 男性の育休取得
- ・ 在宅勤務の実施
- ・ 庁内ウェブ会議システムの導入
- ・ タブレット（遠隔会議、現地調査用）の導入など